

表象と合理的非合理性

古賀聖人 (Masato Koga)

慶應義塾大学

広義のクオリア、すなわち経験における現象的性質の自然化に関する議論では、主観的性質とされてきた現象的性質を客観的かつ物理的、実在的な性質として捉えることが目指されてきた。それらの立場のなかでも有望視された Tye(1995, 2000)らの表象説もまた現象的性質を表象内容に属する性質とみなし、例えば知覚対象の表面に見られる色は、その対象のもつ物理的性質であり客観的・実在的な性質であると主張する。(特に色についてこのように考える立場は「色の物理主義」「色の客観主義」「色の実在論」と呼ばれる)。これに対して、現象的性質を対象の物理的性質として同定することはできないとする反論がしばしば行われ、それらにさらに再反論がなされているが、このような構図を呈して以降、この論争にはあまり大きな展開が見受けられないように思われる。

しかし、そもそも現象的性質を対象のもつ何らかの物理的性質と同一視できないということは、それが対象に帰属する性質であることの反論になるのだろうか。現象的性質を対象に帰属する客観的性質とすることは、それを対象の物理的性質として同定することを要請するのだろうか。このような要請は、物理的性質、すなわち物理学によって表象される世界がもつ性質(伝統的には第一性質と呼ばれてきた性質)こそが客観的で実在的な性質であり、知覚によって表象される性質(伝統的に第二性質と呼ばれてきた性質)は実在的な性質ではないという考えに基づいており、さらその背後には物理理論だけが実在世界を表象しているという考えがあるように思われる。

このような見方は、色の物理主義／客観主義／実在論という呼称がほぼ区別なく用いられていることにも見られるように、心の哲学ではしばしば暗黙裡に前提されてきたが、一方で、そのように物理理論をある種の特権的表象とみなすことを否定する立場も存在する。例えば Goodman(1978)は、物理的なものと実在的なものを同一視し知覚的なものを見かけに過ぎないものとする見方を退けている。また、科学について認知的アプローチをとる Giere(1988)は、科学者もまた人間に過ぎず、科学者の構成する表象が人間によって使用される他の表象と根本的に異なるということはあると述べる。

本発表では、物理理論を含めた自然科学の理論や知覚システムを使用して世界を表象する主体である人間の側に注目してこの問題を考えることにする。特に、人間は生物の一種であり有限の資源しか与えられていない存在であるという、哲学ではさほど重視されてこなかった点を考慮し、経済学的な観点から問題にアプローチしたい。具体的には、政治経済学の分野で近年注目される「合理的非合理性」(Caplan 2000, 2001, 2007 Huemer 2010)という考えを導入し、合理性のコストや便益といった観点から、知覚的文脈や科学的探究の文脈において人間がどのように表象システムを選択するのか、またそれらの表象システムがどのように形成・改訂されるのかについて検討を行う。

これらを検討することから見えてくるのは、人間が用いる表象システムは文脈に即し道具的合理性に基づいて形成・選択されるプラグマティックなものであり、個々のどの表象システムも道具的に合理的な仕方では改訂される可能性に等しく開かれていること、および対象や性質の客観性とはつまるところ表象するシステムのもつ客観性や公共性のことなのではないかということである。これにより、物理理論のような特定の表象だけが実在との対応という特権性をもつという根拠は認められず、よって現象的性質を表象内容に帰属する性質とみなす表象説の基本主張は、それらが対象の物理的性質として同定されることを要請しないということが主張される。また、このように理解されたとき、心の自然化の試みにおける表象説の意義には再考の余地があることを指摘する予定である。

参考文献

- Caplan, B. (2000) 'Rational Irrationality: A Framework for the Neoclassical-Behavioral Debate,' *Eastern Economic Journal* 26(2), pp. 191-211.
- Caplan, B. (2001) 'Rational Ignorance versus Rational Irrationality,' *Kyklos* 54(1), pp. 3-26.
- Caplan, B. (2007) *The Myth of Rational Voter: Why Democracies Choose Bad Policies*, Princeton University Press.
- Giere, R. N. (1988) *Explaining Science: A Cognitive Approach*, Chicago Univ. Press.
- Goodman, N. (1978) *Ways of Worldmaking*, Hackett.
- Huemer, M. (2010) 'Why People Are Irrational about Politics,' in
<http://home.sprynet.com/~owl1/irrationality.htm>
- Tye, M. (1995) *Ten Problems of Consciousness*, MIT Press.
- Tye, M. (2000) *Consciousness, Color, and Content*, MIT Press.